

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【公開番号】特開 2010-192954 (P2010-192954A)
 【公開日】平成 22 年 9 月 2 日 (2010.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-035
 【出願番号】特願 2009-32272 (P2009-32272)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

H 0 4 R 1/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 1 0

H 0 4 R 1/28 3 1 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 12 月 27 日 (2011.12.27)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 4】

請求項 3 に記載の音量補正装置において、
 前記声平均レベル生成手段は、
 前記連続関連音区間の先頭期間において、前記声平均レベル検出手段で検出された前記平均レベルと前記入力音声信号の声区間の平均レベルとを比較し、その比較結果に応じて前記先頭期間における前記平均レベル検出時定数を変化させる
 音量補正装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 6】

また、請求項 4 の発明は、請求項 3 に記載の音量補正装置において、
 前記声平均レベル生成手段は、
 前記連続関連音区間の先頭から一定区間において、前記声平均レベル検出手段で検出された前記平均レベルと前記入力音声信号の声区間の平均レベルとを比較し、その比較結果に応じて前記先頭期間における前記平均レベル検出時定数を変化させる
 ことを特徴とする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 8 0】

一方、第 2 平均レベル検出部 3 4 1 4 は、加算出力信号 S m のレベル変化に応じた閾値レベル d を設定する目的で、加算出力信号 S m の平均レベルを検出するもので、その平均レベル検出時定数は大きな値に設定されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

そして、エンベロープ検出部 33 からのエンベロープ信号 S_{env} が、選択部 361 の一方の入力端に供給されると共に、連続関連音区間検出フラグ $SFLG$ が選択信号として選択部 361 に供給される。この選択部 361 の出力信号は、積分部 362 に供給される。そして、この積分部 362 の出力信号が、選択部 361 の他方の入力端に供給されると共に、平均レベル生成部 36 の出力信号 V_{avr1} として出力される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0292

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0292】

したがって、この第 5 の実施形態では、ゲイン制御信号生成部 23 は、総合平均レベル検出生成部 72 からの合成レベル信号のレベルが、基準レベルとなるようにするゲイン制御信号を生成して、可変ゲインアンプ 21L, 21R に供給するようにする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0309

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0309】

図 34 の例においては、図 31 の例と同様に、声以外平均レベル生成部 71 が設けられる。また、図 34 の例においては、声平均レベル生成部 39 および総合平均レベル生成部 72 の代わりに、総合平均レベル生成部 73 が設けられる。